

議事要旨	
平成 28 年度 第 1 回移動性向上プロジェクト委員会	
開催日時：平成 28 年 7 月 29 日 10:00～11:30	
開催場所：千葉国道事務所 2 階 202 会議室	
委員会出席	千葉工業大学創造工学部 教授 赤羽 弘和 千葉県警察本部 交通部交通総務課 課長 小島 健一 (欠席) 千葉県警察本部 交通部交通規制課 交通管制センター長 高津 功 (代理出席) 一般社団法人 千葉県商工会議所連合会 事務局長 梶村 一郎 一般社団法人 千葉県トラック協会 常務理事 高安 茂 (欠席) 一般社団法人 千葉県バス協会 専務理事 花崎 幸一 (欠席) 株式会社千葉日報社 広告局長 兼 TV・FM 室長 松本 祥彦 公益社団法人 千葉県観光物産協会 専務理事 飯田 重行 東日本高速道路株式会社 千葉管理事務所 所長 川田 敏 東日本高速道路株式会社 市原管理事務所 所長 齊郷 範明 東日本高速道路株式会社 千葉工事事務所 所長 木曾 伸一 千葉県建設局道路部 部長 槌谷 和己 千葉県消防局警防部 部長 深井 幸徳 千葉県県土整備部道路整備課 課長 根本 嘉生 千葉県県土整備部道路計画課 課長 北岡 聡 国土交通省 関東運輸局 千葉運輸支局 主席運輸企画専門官 (運輸監査担当) 宮本 岳仁 (代理出席) 国土交通省 関東地方整備局 首都国道事務所計画課長 川路 隆之 (代理出席) 国土交通省 関東地方整備局 千葉国道事務所 所長 松浦 利之
事務局	<b>■移動性向上プロジェクト委員会資料 (資料 1)</b> 1. 前回委員会での主な指摘事項とその対応 これまでの経緯 (資料 1 の P1～P3)、前回委員会での主な指摘事項とその対応 (資料 1 の P4～P6) について説明を行った。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ETC2.0 プローブ情報を利用した渋滞先頭地点 (ボトルネック) の特定方法は、今回提案した速度プロファイルを描画する方法でよいが、時間帯別に区分することにより顕著に把握できる可能性があるため検討してほしい。</li> <li>● 渋滞先頭地点 (ボトルネック) の特定方法については、信号待ち回数による特定方法も検討する事が望ましい。</li> </ul>
事務局	2. 渋滞対策の進捗確認 今回委員会の審議内容 (資料 1 の P7)、渋滞対策の進捗状況 (資料 1 の P8～P9)、渋滞対策箇所の効果確認 (資料 1 の P10～P14) について説明を行った。
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 10 箇所の対策完了箇所のうち、3 指標に該当しない主要渋滞箇所が 2 箇所しかないのか</li> <li>● 本モニタリングは、H27.4～H28.3 のデータに基づき行っています。主要渋滞箇所対策を実施した 10 箇所の中の登戸交差点、ポートアリーナ前交差点などは平成 27 年末の対策完了により整備効果検証期間が短いため、平成 28 年</li> </ul>
事務局	

委員長	<p>データで検証します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 主要渋滞箇所であった那古交差点および（仮称）那古南交差点は、対策の結果、3指標に該当しなくなったため、主要渋滞箇所から除外します。</li> </ul>
事務局	<p>3. 対策未実施箇所の経過観察の取り扱い  対策未実施箇所の経過観察の取り扱い(資料1のP15)について説明を行った。</p>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 対策未実施の主要渋滞箇所の除外基準は、継続的なモニタリングによって3年連続3指標に該当しないこととすることで承認します。</li> </ul> <p style="text-align: right;">以上</p>